838
297
116

山下本

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

源姓

山本

山本

正

仕紀州家

寛文十年壬戌四月二日
于歸還俗號意淳故居士

正堅　山本藤四郎

寛文二年壬寅如生北刕

摂津寺

本國三河

故九旭二

根岸信輔氏寄贈

昭和八年 帝國圖書館 二〇

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

仕紀伊殿三百石 享保元年家督五廿六供奉到 御免
奉仕
有徳ニ賜米知三百俵為御小納戸後叙諸役改摂津守
享保十四年二月廿五日従五位下ニ叙ス 元文元年丙辰七十八 依老辞賜時服ヲ為養合
同二年丁巳十月五廿五 致仕長龍寺
于正覚院殿 前摂州大守本融泰然居士

正辰 山本四郎五郎
母

生弘刊
享保 年
部屋住為御小納戸賜三百俵
同十七年子五十九 為小普請
明和六年巳七月廿 寄同寺号祥雲院義山賢忠居士

女子
女子 山本伊右衛門 喜平次 ㊀

正胤 山本八五郎 豊前守
寅 梶川三之亜孝茂三男
寛政 坂井市左衛門 政方女

寛永七年庚寅生 享保十七年子 養子同十九年子寅三十三 部屋住為
宝暦御小納戸 賜三百俵 同十二年十二月十八 布衣
元文元年辰十一月廿 大頭 同三年 三百俵
延享二年丑十月八 同頭取 叙諸役改豊前守
寛延三年午四十一 為新御番頭格

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

宝暦五年乙亥九十八御役 御免為寄合
天明八年戊申三十七為御先手鉄炮頭
寛政四年壬子二月卒年八十三

女子 養子正胤 本多
女 出羽守
寅 摂津守

沼間内膳 妻 寺保十年己亥二歳

山才 喜右衛門 出羽守 摂津守 出羽守豊前守
正虎 母同 摂津守正興女

生母

女子
萬

宝暦三年癸酉六月五部屋住為御小納戸賜三百俵
同年十一月廿一為西丸御小性同年十二月十八叙諸大夫改
出羽守同五年乙亥九十八改左近将監 御免為寄合
明和六年己丑八改摂津守 安政二年乙卯六改出羽守
同四年丁卯四月弥目三百俵
同八年辛未十一改豊前守
三百石内二百石二男分 本知高 実ハ百五十石

元文五年庚申七月廿四
号蓮池浄花童女

山本喜平治

正 女

生 子

三

某 山本

宽政十二年庚申二月廿四日卒

葬地性院

山本十五郎

實名未詳

實母

生 享和二年壬戌十二月廿七日 [illegible]

駿河守義文改之年 弟七北九致仕

[illegible] 杉本孫十郎 為嘉杉本七郎左衛門國利養子

山本三右衛門

實

實母

山本喜平治

正
女
生卒

三
某
山本

宣政二年十二月二日卒
于即性院

山本十五郎

貴
女

生卒
享和二年壬戌十二廿七歳
駿河守元祀文政二年己卯七月九日卒
法名

図樂 杉本孫十郎 高麗杉本七郎左衛門尉利春子

貴
女

山本三右衛門

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

生江戸
文政二年弟七井九家相二男養為小普請

正
女
生江戸
山本七郎右衛門
致仕春閑

正
女
山本七兵衛
當
為先七郎右衛門
養子

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

正

山本

寅月

妻 時使番 筑紫宇兵衛 女

生母

室 七兵衛 致仕舟度

室 永井甲斐守高誠家臣 男

寅年

山本 大次郎

致仕空山

生母

明和二年乙酉八月廿八日 家督千五百石 菊間御老中列座於

右京大夫傳之 為小普請 市橋大膳之配

妻 安藤丹波守廣峰女

養 山本保之助

母安藤丹波守廣峰女

大次郎

生母

直常 永井友之助 母同

女子 母同

御小姓 加藤幸作 為永井松次郎直之養子 母

女子 母同

長田十之亟 母

為長田大学衛門養子

谷中楚澤日照山長明寺号本自院殿離心性名

妻

享保十八年癸丑二月九日卒寺
同寺号春窓院殿快信日敬禅尼

茂親 山本八郎右衛門

一妙

宝永元年甲申生

享保 年 部屋住為御小納戸

寛保元年辛酉六月朔日千石
同年九廿一進目御禮献銀馬代

十大夫

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

明和三年癸五八月廿二日葬長明寺
号戒善院殿山本日意居士

女子 母
女子 母
某
女子
女子

等信 島
岩本
本郎 寛元文二年癸五月廿日

茂珍 母
山本主膳 八郎右衛門

妻 等信 酒井内藏助娘女

生沒
延享四丁卯十二月廿六日
寛延四辛未七十二回忌為等信
明和三年戊
安永八年己十二月改仕賜三百俵 寛政元年己酉十一月十七日
葬長明寺与本善院殿實性清悟日應居士

某 母
山本孝右衛門 盲目

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

寛政二年庚戌十一十六改葬同寺ヲ修善院為宗昌寺ト改ム

女子 母

女子 母

女子 母

光孝御敎地頃寛政九年巳七月九為浦賀奉行
同十年午七月為佐渡奉行同一年
四安永老

山木清五郎

女

生子

寛政　年
賜三百俵同九年十月廿五日
享和元年酉二月廿三日
叙諸大夫改上總介文化十一年戌十二
越前守

部屋住為御書院番
為本丸御小納戸同
為西丸御小姓
為西丸御小性
為西丸御小納戸同
為西丸御小性
為西丸御小納戸同
為西丸御小性
為西丸御小納戸同

菩提所
山本　本國寺

先祖山本六右衛門尊仕
大神君元和年仕　紀州頼宣卿六右衛門
曾孫　山本新五右衛門
和道政　仕紀州家
元禄年中賜三百石　五十石傳家督移得業馬
有徳公御小性賜采地三百石
同十六年十二月廿五日隠　六年中
号本理院云高日奥居士　寿終木忠左馬定辰女

茂韶　山本伊織　備後守
母松平康直女　山本作之右衛門女

享保二年丁酉生
同十六年辛亥六十二歳　目三百石　菊間番　後老中列　松平伊豆守傳之　為小普請　永見新右衛門之跡
同十九年甲寅二十三　為西丸御小納戸　同年十二月廿五
延享三年丙寅十二　為
後明公御初御小納戸　宝暦十年庚辰五十三　為　御小納戸　明和五年戊子十二月七　為御小納戸頭取　同
十月叙諸大夫改備後守　安永四年乙未十五　為
御先手御鉄炮頭　同六年丁酉二月八辛年六十二　寺

享　　翁
小笠原庄太夫氏次

茂也　山本九右衛門
仕処未詳

茂門　山本隼兵衛
仕処未詳

元朝　小笠原弥右衛門　庄太夫
為翁小笠原庄太夫氏次養子

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

茂明　山本彦太郎　八郎右衛門　越中守　出雲守
　母家女

延宝八年庚申生紀州
元禄年中仕　紀伊吉宗君賜三百石為御近習
正徳元辛卯年五廿二為
有徳公御小納戸　御本丸賜常州内本知三百石
同年七廿二布衣　同十三年戊申日光山供奉
同十四年己酉三月為御小納戸頭取　同年十二十六於
奥而叙諸太夫　改越中守　同廿九年甲辰九月為
小五郎君附下總州内加増七百石賜千石　同三日改
出雲守　享保元年丙申三廿五年六十二卒

女子　御小姓　小宮山利助昌則妻

女子　蜷川能登守親春妻

茂文　山本徳五郎　大内記
　母家女

延享二年丙寅生紀州
宝暦十五年乙酉九廿八部屋住為御小姓組水野内膳正組
賜三百俵　明和三年丙戌二廿七為御小納戸

同寺号知足院殿徳五信士　妻殿部八郎五郎　女

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

同年三廿七為御小性同四年丁亥十二十六叙諸大夫
改大内記同二年辛卯正六叙二等同寺
号一条院殿従五位下朝散大夫前大内記智明居士

道好　山本徳五郎
妙家女

宝暦十一年辛巳生
安永六年丁酉　跡同三百石為小普請
天明二年壬寅卅九為御小姓同年十二廿八布衣
寛政六年甲寅九十為御小性同七年乙卯十二十七叙

同防寺　伊勢守

諸大夫改同防守
文化二年乙丑十六八為御徒頭同　年
御鉄炮頭

為尚先手

清和源氏

山下　本國三河　汝三頭也　為三頭

或曰信州木曾家分流自信州移之

本曾義仲三男四郎義宗之遺也　式部大夫義直之也

多田滿快後胤　陸奥守正綱元義元義元方遠州二俣而戰死

某　山下又五郎　陸藏

正綱　山下陸藏　又助　居三州

又陸藏共孝仕

清康君大永四年甲申五月攻三州山中岡崎陣正先馬

信長時正綱年十九歲而進先登得首級蒙御感狀

享祿二年七月七日於三州品野役尽力戰其後守理從

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

與林藤助共次走廻以有軍功賜兩人一紙俾感狀

山下弥藏　又十郎

細義　生三河
三州長沢軍戦死

山下藤八郎

細元　生三河
遠州二俣戦死

戊戌　三男
父討死時幼年ニ付
大神君御召置被成御番宝永十年四月卒

山下與三兵衛

細次　生三州

天正年中奉仕
大神君三州阿倉ニ而
同十九年辛卯賜朱地

山下長右衛門

細重　生三州
慶長年奉仕
父傷ニ而為小十人ニ賜二百俵

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

山下兵右衛門

女

生江戸
寛永　年
慶安二年ニ　　歿

元繁
女

山下長次郎　　長右衛門

生江戸
慶安二年己丑十二月十四師匠二百俵為十善請
寛文二年壬寅十八為大御番ニ而備後守組
同十年庚戌十六為御膳物方ニ
元禄二年己巳四月九為留主見番頭

同四年未八五歿

山下佐五右衛門

女同
生江戸
寛文　年　　新規為大御番賜二百俵

元禄四年未十一五新御番松平右近将監組為御膳司
同十五壬午六十五為神田和田倉御屋敷奉行
宝永三年丙戌七二　御免為小普請
同五年戊子十一廿三致仕
法駒丞高林寺号泰善院快雲居士　　延慶房士

安楼川七郎兵衛

女子
母 楼川七郎兵衛妻

山下伊織

生没
宝永五年子十一廿五 家督二百俵 社先住馬寺建之 為
貞国陽室 後為曲淵下野守支配 寺保二年巳八年高林
寿高林寺号純學院 即葬于心居士

源右衛門

享保九年辰四月九日 妙貞大姉
号善心院光誉

正徳四年午六月八日 安室高林
号長光院陽室利生大姉

女子
母

小長谷宮内 時副妻
寺保二年丁酉五月廿日 寺
号法雲院壽屋永堂大姉

秦義
母

山下新五右衛門

生没
享保八年癸卯十二月十八日 二百俵 蒲田御代官
水野和泉守傳之為小普請 曲淵下野守支配
同十二年戊申三月二日 大御番 茅津出羽守組
元文四年未十一月十九日 大坂在番而致死

義連　山下又右衛門又五郎　伯耆衛門

母

生沒
元文四年未十二月七日　同二百俵　當番
相手右近將監傳之　為小普請　永井尚物支配
同六年酉二月六日　為大御番
寶暦七年丑十月八日　改二條在番而致

義忠　米全五郎　又兵衛

母

生沒
宝暦十年辰十二　歿日二百俵為小普請
安永二年癸巳四月六日　長谷川久之助支配時為大御番
大久保豊後守組　文化五年戊辰
同十年酉　致

義栖　山下吉之助

文化二年丙寅十二月廿日任為大御番衆川奥部大勢組
文化十年癸酉十二月廿五日二百俵五十俵

政明　山下七郎
　　寅
　　享母

女子
母

養子政明

安永五年丙申十二月廿日生
文政九年丙戌正月十五日卒

次正　山下十大夫
　　母

生
寛永　年
慶安元年戊子二月五日細井左吉門組番為小十人組
　　賜二扶持

廣之　山下権左衛門
　　母

生
承應二年癸巳二月廿七日為大御番組
明暦二年丙申五月廿三日賜二扶持

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

寛文二年壬寅　為　神田御殿御使役賜五百俵
延宝八年庚申十七為　先御書頭

山下太郎為
　甥
寛永十七年庚辰生
寛文二年壬寅二廿一歳規為
内藏助組賜二百俵
元禄十六年癸未八月

神田御殿御書院番支配

義雖　山下三次郎　改次右衛門　蕃花号

生母
元禄十六年癸未十二十八家督二百俵　土屋相模守傳之為
小普請井戸對馬守組宝永元年甲申六九為相州御番
同年七九為御小納戸正徳四年甲午二十二為寄合
同年十二廿五加恩俵合賜二百五十俵
同五年乙未十十及

山下龍門

廿

生江戸
正徳五乙未年十二月七日
踏二番五度

山下與三兵衛

勝

女

生母

義武

山下陳命助

女

生母

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

享保九年甲辰十九年本領殿助死時為大御番山口信寺
此同十九年甲寅九廿七没

義旭　山下陳四郎　元文元年丙辰十廿五為大御番十番
母

生母戸
享保十九年甲寅十二西歳目五百蔵菊岡御先中列座
松平伊豆守傳之為中臈大岡越四郎
寛保元年辛酉五　改年廿二壬戌寺

義冨　山下三之助　陳四郎
母

生母戸
寛保元年辛酉七九六歳目九百蔵菊岡御先中
列座本多中書傳之為小臈竹中周防守配
延享四年丁卯四九為大御番組頭
宝暦十三年癸未七十七依病辞為小臈

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

義諸　山下安楊
女

生ル子
安永　年
文政　安永九年庚子正月五日
天明五年乙巳十一月六日病辞為小普請

山下　與四郎
女

生ル子

権左衛門

義　山下権太郎
女

生ル子
文化十一年甲戌十二月四日跡目為小普請
知百石　内四石二斗四合ノ小物成高
外二百四十九石一斗六合ノ高

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

元道

山下岩之助　陸五郎

母

生七ヶ
元禄四年未十二二郎屋住為大御番
同年八五又兄同高故跡不願同五年五十二依病
辞為小普請
同十一年六月　没

元喬

山下九兵衛

妻

傳十郎

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

生母
元禄十七年戌辰十二月八日病
傷く 高士書院
享保二十年乙卯四十六 打本五郎左衛門 時為大御番
廣田備後守 延享三年寅七十五
四年丁卯正十三致
仕

元亮 山下岩次郎 長右衛門
女
生母

延享四年丁卯四 師目二百俵為小普請
宝暦四年甲戌五十八 島田庄五郎 時為大御番
安永二年癸巳七五 新井番 水野勝長守組

元慈 山下 長右衛門
女
生母

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

義勝　山下陳藏　在文

永禄元年戊午生二月
天正十年壬午春任
大神局同十九年辛卯賜采地
寛永四年丁卯十月二日卒年九十七道仲

周暘　山下陳藏

生二河
寛永四年丁卯嗣父義暘遺跡後為小大頭

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

寛永十年壬酉十二廿六加秩五百石
同十六年己卯六十一爲駿州清水御附
承應二年癸巳六四歿

女子
母同

忠吉
母同

女子
母同

三輪小左衛門元景妻

天野又大郎 貞明妻

山下主米助 庄太夫

鉄炮
頭

鉄木長九衛門改事

昌勝 山下市之丞 母同

寛永十年癸酉生江戸
主殿頭組賜三百俵 承應二年癸巳十二廿一日
外分知五百石旅宿同主馬助
延宝七年己未十六爲御使番同八年庚申七十大坂
御同行代 同年六月晦日賜金五枚時服二羽織
同九年辛酉三廿七飯府 同年八十七日光御目付代
天和二年壬戌二廿二常州土浦城引渡御用大奏者
加賀守傳之 同年二朔 御暇賜金二枚同九月歸
同三年癸亥五九日光御破損者行同年閏五六

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

日光御暇 同廿六日日光御用可竟大久保加賀守
豊後守傳之同年七十一日光御暇賜金三枚時服三
羽織同年十十九就日光御用叙諸大夫改信濃守
同年十二廿一依日光御用午賜金十枚
貞享元年甲子七二年七十二葬于谷源慶寺
号勝光院殿前信州釋宗雲

山下主馬助
廿四
生江戸
承應二年癸巳十二廿七賜金如五百石

勝季 山下數馬 勘右衛門
廿
妻高木主居門女 延宝二年甲寅七廿三緣組
天和三年癸亥六廿三歿

生江戸
延宝六年戊午二廿九部屋住為御小性組石川帝正
賜三百俵 貞享元年甲子七十二跡目千五百石同
御老中列坐大久保加賀守傳之同廿三日御禮献金馬代
元禄二年己巳五廿二為相問御番同年六四為御小納戸
同三年庚午二五御暇公 御免閉門為小普請
享保五年庚子十二七隠居 同六年辛丑五廿五致年
葬源慶寺号蓮塵院殿釋可観居士

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

山下市郎右衛門
女

生江戸
享保五年庚子十二七歳始テ千七百石一番門石御老中
列坐ス田山城守傳之為小普請
宝暦四年甲戌四四陽名
宝暦六年丙子六廿七改年十二月源慶寺
号無量院殿釋遠壽大名士

勝義
女

山下長十郎

勝延
女

山下

元文二年丁巳年一改為四寺
于智見院殿釋鶴山

生江戸 享保七年壬寅年
宝暦四年甲戌五 廿日千七百石為小普請
菊間御縁中列坐 寛保二年壬戌
同年十七為西丸御小性組仏石田幡守組
明和九年壬辰正十二為御使番
安永二年癸巳十七仍病辞為寄合
于明四年卯辰四十九改年六十二 寿源慶寺

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

勝彦
母

山下五郎右衛門 松帝十郎

生江戸
天明四年甲辰七四歳目千七百菊四石
父世子命傳之為小普請
寛政 年 為御書院番
享和二年壬戌 致仕

勝

山下弥藏
實
母

生江戸
享和二年壬戌 十二五歳目菊四石
傳之為小普請
千七百石 無高訳小姓組高入
外七百九石之内七百石之内
同周防守 二百三石二斗 同望陀守二色
同長門守 二十九石 同主殿守四色 四百十石 年七斗
外伊予国地 望陀守 筆福百枚

女子　毒井兵庫頭　妻

如
為　御使番井狩五左衛門長諸養女

藤原
山下　本國豐後

紋九内三扇

成利與市義成後剃
山下又助

勝忠　生國甲斐
仕武田信玄勝頼天正十年三月武田七後執居山林
信長薨後以成瀬吉藏
大神君賜甲州観音寺舍科坂上凡共六貫文
同十九年寺卯賜采地於阿束三百石
慶長十五年庚戌四六致号廣渡院昭山淨本居士

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

勝長　山下又助
　生國甲斐

慶長十五年庚戌跡目三百石
元和四年戊午十二十為大御番
同六年庚申大坂御番寛永十一年甲戌十二依
相番四十人連訴而改易蟄居同　年　御赦免賜
本知三百石為大御番松平縫殿頭組
寛文二年壬寅九四為御天守番頭後以病辞
貞享二年乙巳九廿九致事
号龍光院殿正庵道壽居士

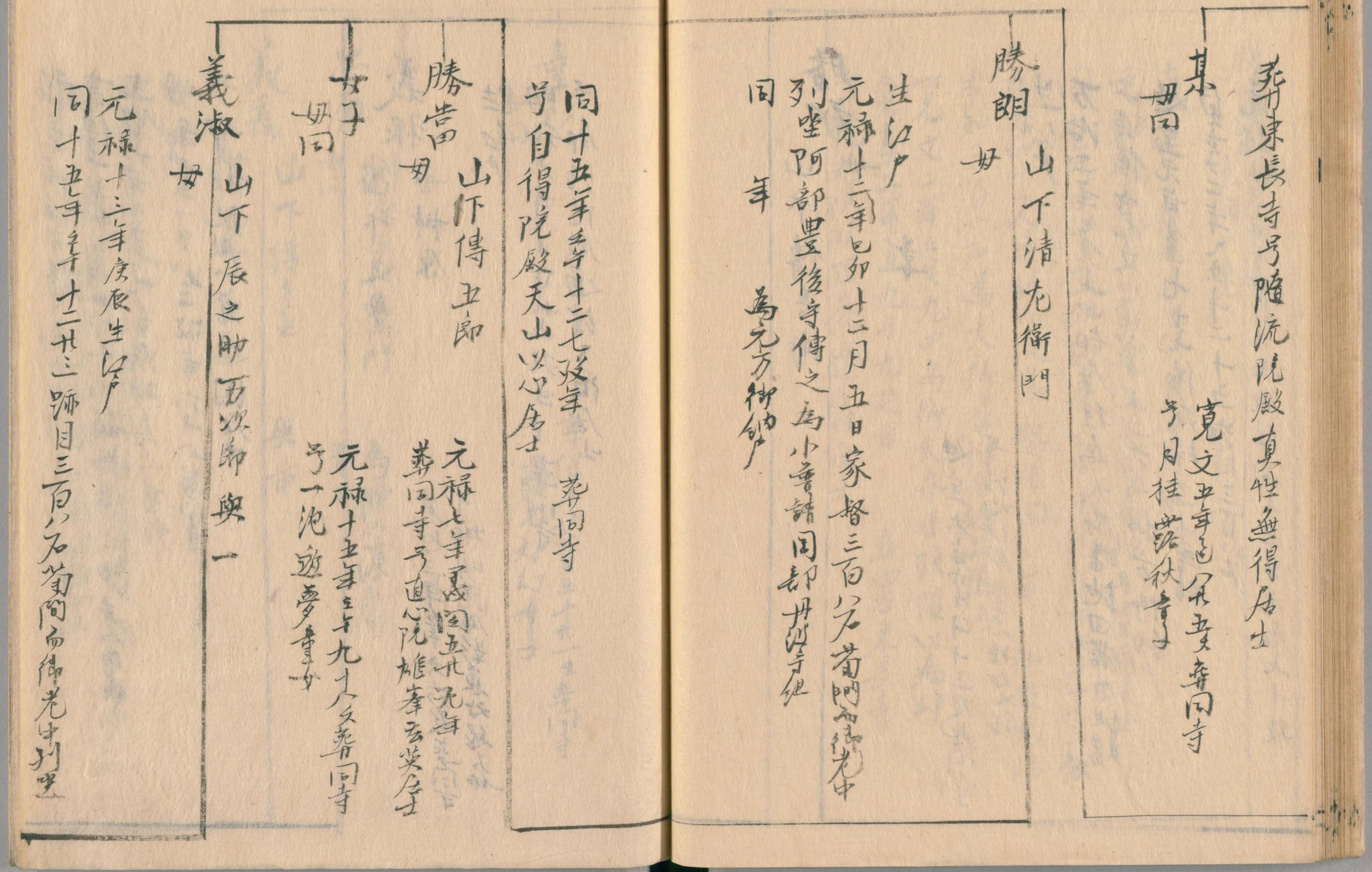
壽四谷東長寺

勝知　山下傳兵衛
　母
　妻

延宝六年戊午十二月廿六日父
号清心院殿明窓恒心大姉

生涯
万治二年己亥十四部屋住為大御番池田帯刀組賜
二百俵寛文八年戊申十二六為拂方御納戸
延宝元年癸丑七廿七依病辞為十番詰
貞享二年乙丑十二十五病因三百石
元禄十二年己卯十二五致仕同十三年庚辰七十致

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

稲葉井往守傳ノ為中興祖
享保十五年庚戌四十三為新御番高力平八郎組
宝暦六年丙子七九若病辞為小普請
明和四年丁亥八三没年六十八菩提寺
于實相院殿一峯道圓居士

義根　山下又助
母　榊原

生ル戸
明和元年甲申正廿五没年廿
于廓清院殿通津了徹居士　寿圓寺

寛延三年庚午六月廿五寿圓寺
于柳明院殿影窓知縁大姉

女　早彩
　　回

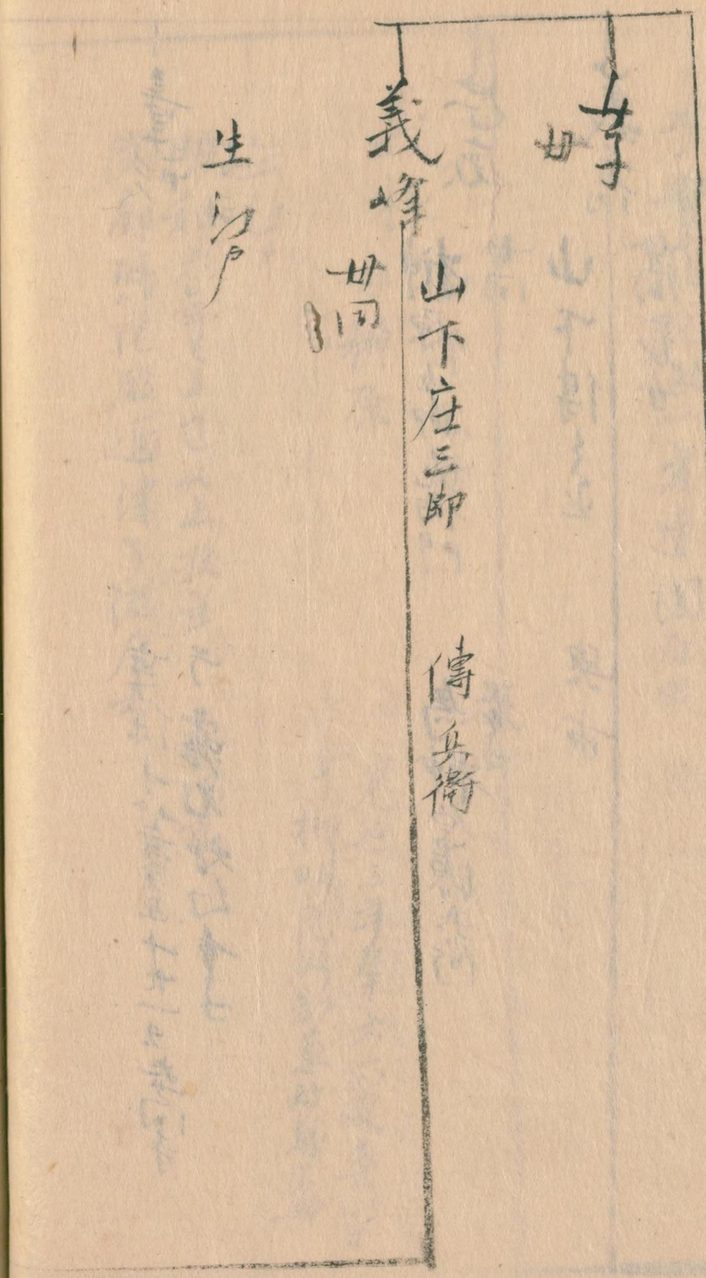
忠庸　榊原五郎左衛門
　昌
山下傳之丞

義喬　為榊原源兵衛
　昌敬女　養子
　　與市

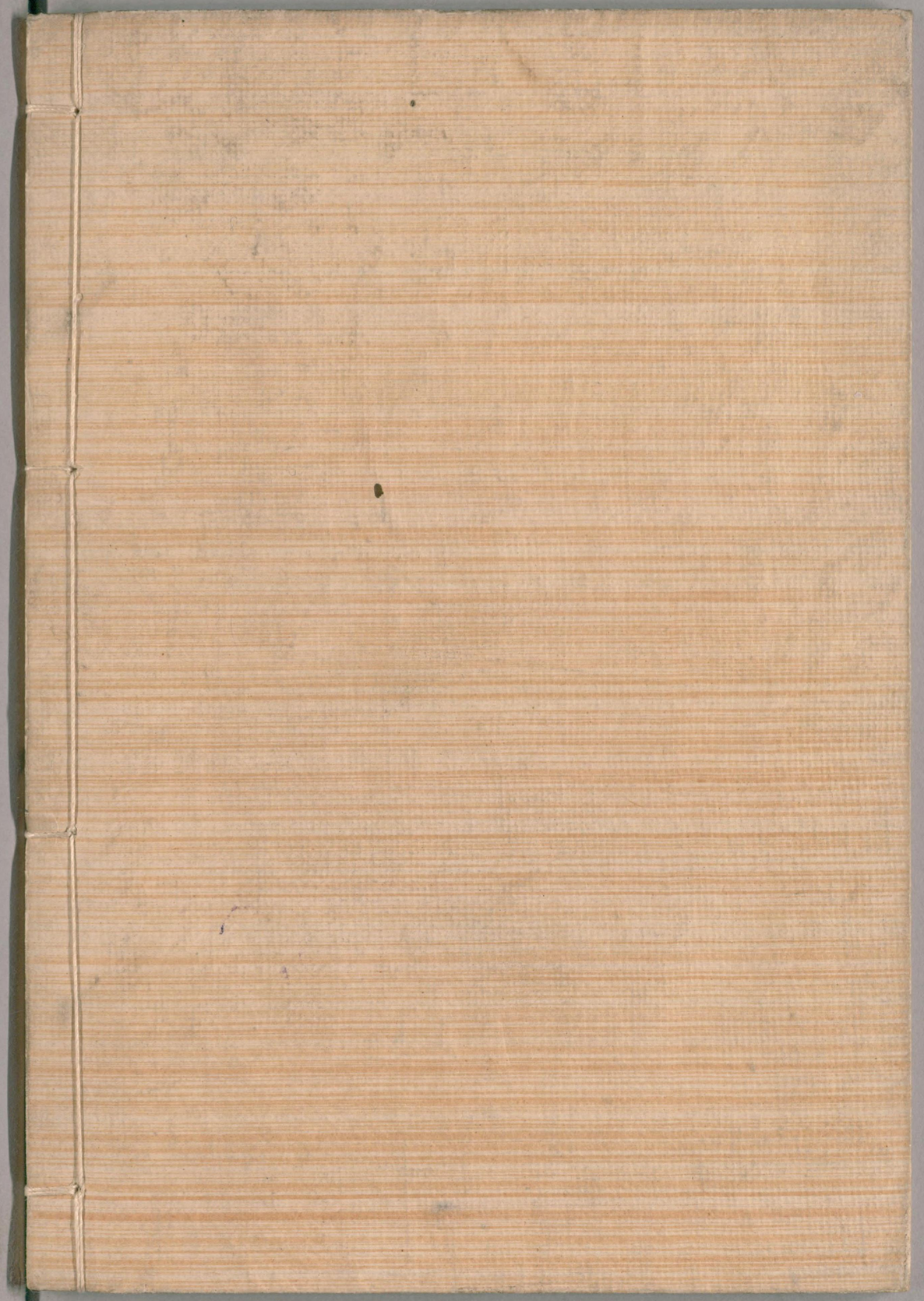
生ル戸
明和六年己丑　歸目三百俵為小普請組三六御入配
同八年辛卯五三為大御番井倉井修理

838
297
116

天明四年甲辰十二九仍病辞為



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用